

わかくさ

平成31年 4月 8日 No.522

目次

- 子供の瞳・笑顔が輝く学校 1
- 4月の行事予定・生活時程 2
- 谷戸小学校 教室配置 3
- 平成31年度 谷戸小学校職員組織 4

西東京市立谷戸小学校 校長 清水 宣宏

「喜び 安心 未来」を届け、子供の瞳・笑顔が輝く学校に

校長 清水 宣宏

満開の桜に力強い生命の息吹を感じ、吹きわたる風は肌に心地よく、新しい出発を迎えるにふさわしい季節となりました。お子様のご進級・ご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

5月1日からの元号が「令和」と決まり、さまざまな面で技術革新・グローバル化がめざましかった平成の時代を受け継ぎ、新しい時代を切り開こうとする意欲とよりよい未来への希望と期待に溢れる4月です。谷戸小学校でも本日、46名の新入生と3名の転入生を迎え、児童数329名の通常学級12学級と特別支援教室「せせらぎ」を合わせ、令和元年のスタートを切りました。私は、4月1日付で市内の東伏見小学校より校長として着任しました、清水 宣宏（しみず のぶひろ）です。前任の野崎 信行校長先生はじめ、諸先輩方、地域・保護者の皆様が育ててきた谷戸小学校の伝統を引き継ぎ、さらに充実させていきますよう、教職員をまとめ一丸となって取り組んで参ります。

さて、教育の目的は子供たちに「生きる力」を育み、自主・自立へと導くことです。生きる力とは、知・徳・体をバランス良く身に付けた力であり、これらの力は、学校の学習や生活等の中で解決すべき課題を掴み、解決に必要な情報を収集して的確に判断・活用し、周りの人と協力・協働しながら解決を図っていく過程で身に付けるものです。また、そのときに身をもって味わったり体験したりするだろう「努力」「工夫」「協調」「切磋琢磨」「我慢」「妥協」「挫折」「反省」「克己」「克服」「達成」「成就」などの様々な姿勢・感情が育む人間性そのものが「生きる力」と考えます。なかでも「達成」「成就」、易しい言葉で言い換えれば「分かった」「できた」という喜びこそが、子供たちの学びに向かう一番のエネルギーになります。

今年度、谷戸小学校では、子供たちにより着実により効果的に「生きる力」を育んでいくために、「喜び」「安心」「未来」をキーワードに教育活動を展開していくことを教職員一同で確認しました。先生が分かりやすく、分かるまで、間違っても叱らずに教えてくれる安心な環境を子供たちに保証し、「分かった」「できた」喜びに子供たちの瞳や笑顔が輝く機会を少しでも増やせるように努めていきます。そうした小さな「分かった」「できた」の積み重ねにより子供たちは自己肯定感を育んでいくと共に、なりたい自分の姿を少しずつ具体化させ、未来への期待や希望に繋げていけるものと考えます。

「喜び」「安心」「未来」を発信するのは、まずは教師の務めです。しかし、子供たちには受け身の姿勢でいるばかりではなく、自分自身と一緒に学ぶ友達のために、自らも「喜び」「安心」「未来」をすすんで発信するよう働きかけていきます。また、「生きる力」の育成は、学校だけで行えるものではありません。保護者の皆様はもちろん地域の皆様も、子供たちのよりよい学びを支えるために、学校と手を取り合い「喜び」「安心」「未来」の共同発信者となっていただけますようお願いいたします。

教職員とは、よりよい教育活動を推進するために管理職と教職員、また教職員相互の「対話」を大切にすることも確認しました。このことは学校内に留めることなく、地域・保護者・学校の三者における対話を大切に、教育に関わる情報や手立てを共有し、子供たちの豊かな成長のために協力しながら教育活動を進めていきたいと思っております。笑顔で活動したり、瞳をかがやかせて歓声を響かせたりする子供たちを見て教職員が達成感を味わい、保護者・地域の皆様にも喜びと安心、そして未来への明るい希望をお届けできるよう努めて参ります。本年度も、谷戸小学校への皆様の、益々のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。